

但馬扇山の陸産貝類

波部忠重・古川博二

1953年8月18~20日、兵庫県生物学会の採集会が但馬扇山(標高1310m.)で開催せられ、筆者等は主として陸産貝類を採集し16種を得た。但馬は陸産貝類の分布上、中国要素の東端部にあたり重要な地区であるが、未だ調査がゆきとどいていなかった。今回の調査はその分布の一端を明らかにしたものである。

調査の機会をあたえられた森会長、山本先生に感謝の意を表す。

1. Waldemaria japonica (A. Adams) ヤマキサゴ
1861 Helicina japonica A. Adams, Ann. Mag. Nat. Hist., (3) 8, p. 141.

1879 Helicina japonica reinii Kobelt, Fauna Jap. extramar. p. 118, pl. 10, fig. 12

本種は本州・四国・北九州に広く分布し、各地に地方型が見られるが、扇山産の個体は比較的大きく、淡紅色を呈し、殻は厚い。また蓋は半月形で石灰質化しているが、内面は赤褐色である。採集した4個体は

殻高 8.5mm., 殻径 11.3mm., 螺層4½階
" 8.6mm., " 11.6mm., " 4½階
" 8.8mm., " 12.3mm., " 4½階
" 9.4mm., " 12.5mm., " 5階

2. Nakadaella micron (Pilsbry) ミジンヤマタニシ

1900 Cyclotus ? micron Pilsbry, Nautilus, 14, p. 12.

1947 Cyathopoma (Nakadaella) micron Hirase et Kuroda, Dobutsu-zukan, p. 1165, fig. 3316.

微小貝で、殻径僅か1.5mmにすぎない、山麓の灌木の落葉の間で1個体を得たが、本州から台湾、朝鮮に分布する普通種である。普通種ヤマタニシやゴマガイが採集出来なかつたのは意外であつた。

3. Carychium noduliferum Reinhardt スジケシガイ

1877 Carychium noduliferum Reinhardt, Sifz. Ges. nat. Fr. Berlin, p. 97 (産地:三浦半島三崎)

1877 Carychium noduliferum Reinhardt, Jahrb. Mal. Ges., 4, p.324, pl. 11, fig. 8

本種もまた微小種で、殻高僅か2mm.である。前種と同じ場所で1個体採集した。本州、四国に分布する。

4. Pinguiphaedusa attrita (Böttger) ハゲギセル

1877 Clausilia attrita Böttger, Clausilieustudien, p. 67

1878 Clausilia attrita Böttger, Jahrb. Malak. Ges., 5, p. 59, pl. 4, fig. 1

1939 Hemiphaedusa (Hemiphaedusa) attrita Azuma

et Habe, Hakubutsu, 1(1), p. 13, pl. 1, figs. 1, 4, pl. 2, fig. 36

本種は平地に多いツムガタギセル P. pinguis platydera (V. Martens) に似ているが、形が大きいので容易に見分けられる。中部・近畿に分布し、水上でも記録されている。扇山産の4個体は次の如くである。

殻高 32.7mm., 殻径 7.8mm., 螺層 8½ + x階(最小)
" 38.8mm., " 7.7mm., " 10 + x階(最大)
" 35.2mm., " 8.0mm., " 9 + x階
" 36.6mm., " 8.3mm., " 9 + x階

5. Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) bilabrata (Smith) シリオレギセル

1876 Clausilia bilabrata Smith, Quart. Jour. Conch., 1, p. 120 (産地神戸)

1878 Clausilia bilabrata ptycholaema Böttger, Jahrb. Malak. Ges., p. 103, pl. 4, fig. 6

1939 Hemiphaedusa (Tyrannophaedusa) bilabrata Azuma et Habe, Hakubutsu, 1(1), p. 17, pl. 1, figs. 5, 19, pl. 2, fig. 38.

1947 Tyrannophaedusa bilabrata Kuroda, Dobutsu-Zukan, p. 1052, fig. 2976

本種の分布は広く近畿・中国・四国・九州に及ぶ。扇山では山頂のブナ林の中で発見せられて形が非常に大きい。即ち、3個体の測定を示すと、

殻高 25.6mm., 殻径 7.0mm., 螺層 7 + x階
" 28.6mm., " 6.6mm., " 7 + x階
" 31.9mm., " 7.4mm., " 8 + x階

6. Mundiphaedusa decapitata (Pilsbry) シリオレトノサマガセル

1902 Clausilia ducalis decapitata Pilsbry, Proc. Acad. Nat. Sci. Phila., 54, p. 361 (産地:播磨香島)

1939 Hemiphaedusa (Megalophaedusa) ducalis decapitata Azuma et Habe, Hakubutsu, 1(1), p. 4, pl. 1, figs. 3, 12, pl. 2, fig. 33

本種は近畿北部に分布する淡黄色の美しい種である。成体になると、前種同様殻頂部の螺層が脱落する。扇山のブナ林より得た1個体は、殻高 21.8mm., 殻径 5.6mm., 螺層 6 + x階

7. Stereophaedusa japonica (Crosse) ナミギセル

1871 Clausilia japonica Crosse, gour. de Conchyl., 19 p. 228, pl. 13, fig. 5

1876 *Clausilia kobensis* Smith, Quart. Jour. Conch., 1, p. 122.

1877 *Clausilia hilgendorfi* Martens, Sifz. Ges. nat. Fr. Berlin, 17, p. 106.

1939 *Hemiphaedusa (Stereophaedus) japonica kobensis* Azuma et Habe, Hakubutsu, 1 (1), p. 19, pl. 1, figs. 21, 26., pl 2, fig. 39

1947 *Phaedusa (Stereophaedusa) japonica* Hirase et Kur da, Dobutsu-Zukan, p. 1052, fig. 2976.

本種は本州・四国・九州に広く分布する種で多くの地方型がある。扇山産の個体は紫褐色を呈する。4個体の測定は

殻高 32.3mm., 殻径 7.2mm., 螺層 11½階

” 33.5mm., ” 7.8mm., ” 11½階

” 33.7mm., ” 7.0mm., ” 11階

” 35.0mm., ” 7.4mm., ” 11½階

8. *Incillaria frushstorferi* (Collinge) var. ヤマナメクジ

1901 *Philomycus frushstorferi* (Collinge,) Jour. Malac. Soc. 8, p. 119, pl. 1, fig.(産地: 対馬)

1901 *Philomycus frushstorferi punctatus* Collinge, l. c., p. 119.

1903 *Philomycus melachloras* Simroth, Sifz. Ges. nat Fr. Berlin, 24 p. 42.

本種は大形個体1匹と幼個体数個とを扇山のブナ林で得た。原種に比較して、背面に黒斑を欠いている点で異なる。この型は伯耆大山でも得ているので、一地方型とみとめられるかも知れない。

9. *Deroceras* sp. コウラナメクジの一種

日本産のコウラナメクジ類は未だ研究せられていない。本種は扇山登山道で唯一個体採集した。淡黄褐の細長い種である。現在なお解剖未了であるから、現在種名を決定していない。

10. *Discoconulus yakuensis* (Pilsbry et Hirase)

ヤクヒメベツコウ

1902 *Microcystina yakuensis* Pilsbry et Hirase, Nautilus, 16, p. 6 (産地: 屋久島)

1907 *Microcystina yakuensis* Hirase, Conoh. Mag., 1(10), p. 332, pl. 10, figs. 71, 72

1946 *Discoconulus yakuensis* Habe, Jap. Jour. Malac., (14), p. 204.

小形の黄角色を呈するベツコウマイマイで螺塔は高まらず平である。山麓で1個体採集した。本種は本州・四国・九州に広く分布する。

11. *Petalochlamys* sp. ヒラベツコウの一種

山麓で幼殻1個体が採集せられた。本種はヒラベツコウ *P. depressa* Jacobi (神戸産) に最も近似する

が、螺管は太く高い点で異なる。生殻を得て解剖することが必要である。

12. *Satsuma stearnsii* (Pilsbry) ヤマタカマイマイ

1895 *Ganesella stearnsii* Pilsbry, Cat. Mar. Moll. Japan, p. 157, pl. 1, fig. 4 (産地: 比叡山)

1903 *Ganesella notoensis* Pilsbry et Hirase, Nautilus, 16-p. 116.

1945 *Ganesella stearnsii* Habe, Jap. Jour. Malac., 14, p. 10, fig. 1

1949 *Satsuma stearnsii* Kuroda et Habe; Katatsumuri, p. 58, figs 20, 21

本種は北陸・近畿北部・中国に分布する。螺塔の高い卵形で、地色は黄褐色で通常周縁に細い黄褐色帯がある。扇山では山麓より頂上に至るまで、死殻や幼生殻が見られた。成殻は殻高 25.8mm., 殻径 23.2mm., 螺層7½階であつた。近似種 コベソマイマイ *S. myomphala* (V. Martens) は本種より殻高は低く、殻径の方が大きい。特に山陰地方には臍孔の開いたサンインコベソマイマイ *S.m.omphaloides* (Pilsbry) という地方型が分布する。

13. *Aegista Plectotropis vulgigava* (Schmacker et Böttger) オオクマイマイ

1879 *Helix (Plectotropis) mackensii* Kobelt, Fauna Moll-extram. Japan, p. 19, pl. 2, figs. 1, 2, non A. Adams et Reeve 1850.

1890 *Helix (Plectotropis) mackensii vulgigava* Schmacker et Böttger, Nachr. D. Majak. Ges., 22, p. 136.

1902 *Eulota (Plectotropis) vulgigava lanx* Pilsbry, Proc. Acad. Nat. Sci. Phila., 54, p. 32.

1940 *Aegista (Plectotropis) vulgigava* Azuma et Habe, Hakubutsu, 2 (1), p. 17, pl. 1, figs. 8, 9.

1947 *Aegista (Plectotropis) vulgigava* Hirase, Dobutsu-Zukan, p. 1033, fig. 2919

1949 *Aegista (Plectotropis) vulgigava* Kuroda et Habe, Katatsumuri, p. 72, figs. 45, 46

殻は汚褐色、螺塔は低く、周縁に鋭い角をめぐらす。また殻皮は周縁に毛様突起を飾る。又、下面には広い臍がある。山麓で得た1死成殻の測定値は殻高 12.0mm., 殻径 23.6mm., 螺層 6½階であつた。本種は中部の西部・近畿・四国徳島・中国岡山に分布する。

14. *Trishoplita mesogonia* Pilsbry コオトメマイマイ

1900 *Eulota (Trishoplita) mesogonia* Pilsbry Nautilus, 14, p. 11.

1902 *Trishoplita hilgendorfi chikubushimana*

Pilsbry, Proc. Acad. Nat. Sci. Phila., 53, p. 564.

本種の幼殻と思われる個体が山頂で1個体採集せられた。北陸・近畿北部に分布する。

15. *Euhadra sandai daisenica* Kuroda

ダイセンニシキマイマイ

1931 *Euhadra senckenbergiana daisenica* Kuroda, Venns, 3 (1), p. 52, figs. 10, 11, 12 (産地: 伯耆大山) この地方型は伊吹山地方に分布するコガネマイマイ *E. sandai* (Kobelt) に、京都地方に分布する地方型ニシキマイマイ *E. s. kuramana* Kuroda et Teramachi を通じて連続的に推移する。これまでに知られるダイセンニシキマイマイの産地は大山、三徳山等中国山脉である。扇山の個体は螺塔が多少高まり、螺管太く、殻表に著しい火焰彩があり模式的である。山頂のブナ林で死殻を少数を得た。成殻は殻高 28.3mm., 殻径 46.8mm., 螺層 6 階であつた。

なお居組海岸にはこの型で黄色の殻皮を有する平地型が分布する。その1個体は殻高 27.9mm., 殻径 42.6mm., 螺層 6 階であつた。

中国地方に分布するイズモマイマイ *E. idzumonis* (Pilsbry et Gulick) は本種に近似するがピロード様の殻皮をかむり、臍孔が急で深い。

16. *Euhadra amaliae* (Kobelt) クチベニマイマイ

1875 *Helix amaliae* (Kobelt), Nachr. D. Malak. Ges., 7, p. 55.

1876 *Helix nipponensis* Kobelt, Jahrb. D. Malak. Ges., 3, p. 31, pl. 1, fig 2

1878 *Helix (Camaena) congener* Smith, Proc. Zool. Soc. London, p. 105.

1940 *Euhadra callizorda amaliae* Azuma et Habe, Hakubutsu, 2, (1) p. 23, pl. 3, figs. 20, 21.

1949 *Euhadra amaliae* Kuroda et Habe, Kataksumuri, p. 80, figs 59, 60

本種は中部・近畿中国岡山に分布する。扇山の山麓でも少くない。その中の1成殻は甚だ特異な色帯畸形で0 2 3 4の色帯の外に多くの細い褐色帯が4階よりはじまる。殻高32.0mm. 殻径20.0mm., 螺層6階である。

但馬陸貝相の概要

今回の扇山の採集品によつて、但馬地方の陸貝相の特徴を見ると、全国に広く分布する種を除くと、A. 北陸及び近畿北部から中国地方に分布する種が陸貝相の主体をなしている。そして、B. 中国地方に広く分布する種はここまで分布が及んでいないようである。

A. の例:

ハゲギセル・シリオレットノサマギセル・ヤマタカマイマイ・オオケマイマイ・コオトメマイマイ・コガネマイマイ (変種を含む)・クチベニマイマイ・ツルガマイマイ (コウロマイマイを含む)。

B. の例:

サンインマイマイ・イズモマイマイ・セトウチマイマイ・サンインコベソマイマイ。

Bの中に含まれる諸種の分布の東端を精査するため、但馬の同好諸氏の一層精密な調査を期待する。

神戸層群とその植物群

鹿 間 時 夫

神戸層群とは明石海峡附近に発達する第三紀層に対して著者の与えた名称である。この層群は岩屋層、丸山層、多井畑層、白川層、多井畑化石層等に分れ、岩屋層は淡路島北部に分布し、浅海性の化石に富む砂岩の勝つた地層であり、他は明石海峡の北岸に分布する。その中、白川層は極めて豊富な植物化石層を多数含み、その層的研究は相当重要な意味を有するので、著者はこれについて研究し、次の如く発表した。

(1) 神戸層群は淡路北部 (岩屋層) と神戸市附近。主として藍那台地 (多井畑層、丸山層、白川層、多井畑化石層) に分布し、岩屋層は海成、多井畑層、多井畑化石層は一部海成、他は陸成で植物化石に富む。各層は断層によつて接する。

(2) この層群は先ず第三系と不整合、断層によつて接し、播磨層群により不整合に被覆される。多井

畑層、岩屋層は塊状砂岩を主とし、白川層には凝灰岩、礫岩が著しい。

(3) 白川層には九帯以上の植物化石帯があり、その包含する植物化石小群の性質が互に少しずつ漸移する上、中、下に3分される。

(4) 白川層植物化石群は時代的に小国、鍋音沢両植物群よりもやや新しく、上部は根ノ白石植物群と同時、またはそれよりも古く大部は塩釜、槻木、棚倉、延日等の植物群と合致し、大約中上部中新世より最下部鮮新世に亘るものの様である。

(5) 白川層植物群は暖帯林の気候を示し、その下部より上部に行くにつれて次第に暖帯から温帯への気候変遷を示す様である。

(地質学雑誌、539号より抄録、詳細は同誌を参照して下さい。室井紳)